

## 製品名: NeuN ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86217

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:41 kDa; Observed MW:46-55 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	NeuN
別名	FOX3; NEUN; FOX-3; HRNBP3
遺伝子ID	146713
SwissProt ID	A6NFN3
免疫原	ヒト NeuN の組み換えタンパク質

### 背景

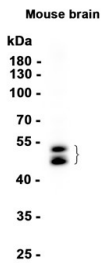
この遺伝子は、pre-mRNA の選択的スプライシングの制御に関与する RNA 結合 FOX タンパク質ファミリーのメンバーをコードして

います。このタンパク質は、N末端のプロリンリッチ領域、RNA認識モチーフ (RRM) ドメイン、およびC末端のアラニンリッチ領域を有しています。この遺伝子は、有糸分裂後ニューロンのマーカーとして広く使用されている神経核 (NeuN) 抗原を産生します。この遺伝子は中枢神経系で最も高い発現を示し、神経組織の発達と成体脳機能の制御において重要な役割を果たしています。この遺伝子の変異は、多くの神経疾患と関連付けられています。この遺伝子の選択的スプライシングは、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションをもたらします。[RefSeq 提供、2017年5月]

## 研究分野

-

## 画像データ



NeuN ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。